
狂人詩集

まったりorz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂人詩集

【Nコード】

N1261B

【作者名】

まったりorz

【あらすじ】

六編の詩をのせています。全体的に暗くて病んでいるかんじです。

「星の见えない夜」

雨が降る

冷たい雨が

この街に

私の肌に

雨が降る。

空には星は見えなくて、
祈る手、空を切り。

「永訣の日」

君がいなくなった日

僕は、雨の中、

誰かと手を繋いでた。

君と永遠に離れる事はないと

勝手に過信して。

「ミミズ日和」

カッター。

右足の上。

太股のなだらかな白い丘の上、

ミミズが五匹這っている

なんだかどうでもいいカンジ

皮膚の上。

ただちよつとだけ後悔
きつとそれだけなんだ。

「矜恃」

嘆いてはいけません。
振り返ってはいけません。

笑われてはいけません。

相談してはいけません。

信じてはいけません。

求めてはいけません。

それらはあなたを救いはしないでしよう。

それらはあなたを必ず裏切るでしょう。

「朽ち果てるもの」

ないものねだり。

手に入ってしまったえば飽きてしまうことを知った僕たちは、

ずーっとないものねだりをするんだよ

傷付けて傷付いて
手に入れてしまったガラクタたち。

手に入らないものばかり憧れて、
それでも手をのぼし続けるんだ。

となりに君は居るのにね。

「さようなら。」

ばいばい。

手を振って、

別れたプラットフォームには、

もう人はいなくて、

吐く息は、白い。

線路の先、
君は居るの？

繋がっているなら、
少し嬉しいね。

明日の朝まで、
電車は来ないけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1261b/>

狂人詩集

2010年10月11日19時32分発行